



自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

8/19(火)

テーマ: 「夢を叶える能力開発～右脳力(EQ)の使い方」

24社27名

講師: 特定非営利活動法人情緒教育研究所理事長 後藤 康夫 氏



1. EQを知りたい人には

後藤康夫氏は、EQ概念を取り入れた不登校・引きこもり・ニート改善指導の第一人者で、今までに1000人以上の子供を進学・就職・一人立ちさせてきた。EQ (Emotional Intelligence Quotient) とは、感情を上手にコントロールして、良好な対人関係を築く能力をいう。

詳しく知りたい人は、『EQ—こころの知能指数ダニエル ゴールマン著』が一番の教科書。また『プレジデントファミリー』7月号「診断! わが子の心の成長度」の中に、親子一緒にできるEQテストがある。大体、親子同じ点数になるらしい。

2. 人の行動の90%は無意識。それを支配する心構えこそが、全ての源。

具体的にEQの概念を知ってもらうために、後藤氏は3つの質問をする。

- ① 企業理念を持って、会社を経営していますか? (多数手が上がる)
- ② 社員もあなたと同じ理念を持って、働いていますか? (誰も手を上げない)
- ③ 今年度の方針を決めていますか? (わずかに手が上がる)

②が難しいのは、経営者と社員間で、心構えが共有できていないからだ。人は、言動の90%を感情(心)で決める。結婚と同じで、理屈では決めない。働く社員は、それぞれ自分なりの理念(人生の中の仕事の意味・考え方)を持っている。だから、勤める会社の理念と自分の生き方が一致していないと、長くは勤められないのだ。

EQを取り入れた改善指導でも、「企業と個人の理念の一致」から始める。



結果は、行動しなければ、出ない。だが、人の行動の90%は無意識の行動だ。無意識、すなわち良く分からない行動が、結果を左右しているといえる。そしてその無意識での行動は、心構えによって決まる。心構えもまた、目には見えないものだ。だから、心構えと行動の両方が明確になれば、当然結果も出る。

ここで注意したいのは、企業では普通、規則や命令で行動を強制したり抑制したり、資格や研修を奨励したり、「行動」を社員に求めることだ。だが後藤氏は、「心構えが共有されていなければ、意味がない。心構えの共有こそ全ての源で、それができれば行動は自然とついてくる、新入社員でも活躍できる」という。

また、後藤氏は強調する。「心構えの共有ができなければ、(社員も)気付いた時に辞めるべき。お互いにやりたくないことを続けるのは、社員も不幸だし、企業も生産性が上がらない。人は、「やりたい」と思えば、自分でお金をかけてでも研修に出るもの。やらないのは、その人にとって、そこに価値がないから。是非一度、社員にどう考えているか、訊いてみてください。お互いの幸せのために」。

3. これからは感性(右脳)の時代。いかにして右脳を鍛えるか?

問題が発生して、左脳のデータベース(自分の知識・経験等)から答えを探すのは、コンピュータと同じ。日本は戦後ずっと左脳を鍛えてきた。だが、これからは感性(右脳)の時代だ。人にしかできないアイデアを出す。右脳を鍛えるには、五感を使うことだ。好奇心が大事で、慣れていることばかりを繰り返さないこと。好きでない本も読む、違うタイプの人とも付き合う。右脳力を鍛えて、夢を叶えたい。

次回 第891回MS! 8/26(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-1777)

テーマ 「病に教えられた心の在り方～葉7条疾病信号～」 講師 (社)倫理研究所 副参事 大橋良弘 氏

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく